

第1 歳入

一般会計

諸収入

事業名等	事業費	内容と成果
ホームページ広告掲載事業	2,380,000円	<p>市ホームページにバナー広告欄を設け、広告掲載について公募したところ、延べ11事業者から申込みがあり、当該事業者の広告を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20,000円×9社×12箇月=2,160,000円 ・20,000円×1社×6箇月=120,000円 ・20,000円×1社×5箇月=100,000円

第2 歳出

1 一般会計

(1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 庁舎清掃等委託	7,186,709円	<p>フロアカーペットの清掃など新庁舎に合わせた清掃内容とした。日常清掃のうち執務スペースについては、職員による清掃を一部実施した。</p> <p>また、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に規定する延べ床面積3,000㎡以上の特定建築物となるため、空気環境・残留塩素測定、雑排水槽清掃、害虫駆除業務等の法定点検等を新たに委託した。</p>
2 新庁舎建設事業	2,053,046,333円	<p>平成18年度に引き続き市庁舎建設工事を実施した。本年度は旧庁舎を解体し、第二期工事としての本体工事、新エネルギー設備設置工事及び外構工事を施工し、平成20年3月末に新庁舎が完成した。併せて平成20年4月に議会施設、選挙管理委員会事務局、都市建設部及び教育委員会の一部が新庁舎に移転するに当たり、本配置での業務を開始するための備品を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体工事費（平成19年度分） 1,644,464,850円 （内訳） <ul style="list-style-type: none"> 建築 1,226,642,550円 電気設備 172,625,250円 空調設備 186,657,450円 給排水衛生設備 58,539,600円 ・外構工事費 31,500,000円 ・新エネルギー設備設置工事費 110,985,000円 ・監理委託料（平成19年度分） 24,032,400円 ・電波障害事後調査委託料 596,400円 ・文書ファイリングシステム導入委託料 1,564,500円 ・総合窓口システム導入委託料 19,330,500円 ・備品等移転委託料 462,000円 ・臨時駐車場借上料 3,600,000円 ・備品購入費 205,318,624円 ・電波障害対策補償料 8,799,840円 ・事務費等 2,392,219円

事業名等	事業費	内容と成果
3 新庁舎に対応した文書管理方式導入事業（ファイリングシステム導入）	3,824,328円	従来の簿冊での文書管理方式を見直し、新たにファイルによる文書管理方式を導入することにより、適正な情報資産の管理、情報公開への迅速な対応、執務環境の改善及び事務処理の効率化を図った。 ・文書ファイリングシステム導入委託料 1,564,500円(再掲) ・消耗品費 2,259,828円
4 新庁舎に対応した総合窓口の設置	19,330,500円	申請書作成システムの導入及び届出窓口でのワンストップサービスの機能を充実するため、システム改良を行い、申請書作成システムは平成19年10月から試行実施し、平成20年度からの本格実施を図った。システム改良により、証明書請求窓口においては市民の負担軽減が、届出窓口においては処理時間の短縮が図られた。 ・総合窓口システム導入委託料 19,330,500円(再掲)
5 人事考課評価者等研修講師謝礼	1,118,250円	人事考課制度の本格実施に伴い、公正・公平な運用展開を図るため、管理職員を対象とした評価者研修及び課長補佐職以下を対象とした被評価者研修を実施し、面談技法の習得、評価基準の統一、制度の再確認等を図った。 ・人事考課評価者研修講師謝礼 640,500円 実施回数 4回 ・人事考課被評価者研修講師謝礼 477,750円 実施回数 6回
6 人事給与システム機器更新	556,710円	平成12年度に導入した人事給与システムサーバの老朽化に伴い、機器の更新を行うことにより、システムの安定稼働及び処理時間の短縮を図った。 ・人事給与システム据付調整委託料 451,500円 ・電算機借上料 105,210円
7 源泉徴収システム導入委託	2,205,000円	従前の源泉徴収事務については、ホストコンピュータで自庁開発されたシステムにより処理していたが、当該ホストコンピュータを廃止すること及び現状の財務会計システムとも連携させ、より効率的な業務の運営を図るため、新たな源泉徴収システムを導入した。 ・源泉徴収システム導入委託料 2,205,000円
8 福生市総合計画（第4期）策定事業	6,099,124円	平成22年度から10年間の総合計画を策定するため、社会動向や市の現状の把握、将来推計等の基礎調査を実施した。また、基本構想についての市民会議を設置し、検討を行った。 ・総合計画基礎調査報告書作成 200冊 ・基本構想市民会議 12回開催(継続中) ・職員研修 9回実施 246名参加
9 住民情報バックアップシステム導入	2,933,070円	住民情報のバックアップシステムを構築し、災害時及び住民情報システムメインサーバの重大な障害時にも窓口サービスが行えるように改善した。平成19年10月稼働 ・電算機借上料 150,570円 ・住民情報バックアップシステム導入委託料 2,782,500円
10 グループウェアシステム更新	2,859,255円	庁内の情報共有化を図るためのグループウェアシステム（メール、掲示板機能等）のリース期間満了に伴い、機器及びプログラムの更新を行った。 ・電算機借上料 339,255円 ・プログラム使用料 525,000円 ・グループウェアシステム更新委託料 1,995,000円

事業名等	事業費	内容と成果
11 情報システム経費調査分析委託	2,940,000円	情報システム経費の適正化を図るため、外部専門家による情報システム導入時の仕様書、見積書、契約書等の調査分析を行った。
12 施設空き情報提供システム（インターネット予約）	3,192,000円	平成17年10月に稼動したインターネットによる公共施設の空き情報提供システムを拡充し、一般利用者からの予約受付サービスを開始した。 ・施設空き情報提供システム借上 2,765,700円 ・一般予約受付機能借上 426,300円
13 町会・自治会広報掲示板管理の統合	2,602,950円	協働推進課、社会教育課及び市民会館・公民館が実施していた市内の広報掲示板の設置及び管理業務を協働推進課に統合し、利便性の向上を図った。 ・広報掲示板設置工事（23基） 2,409,750円 ・広報掲示板修繕料（11基） 193,200円
14 安全安心まちづくりの市民意識の醸成	0円	市民の防犯及び事故防止意識の高揚並びに自主的な防犯及び事故防止の推進を図ることにより、安全なまちを築き、現在及び将来の市民が安心して暮らすことができる社会を実現することを目的とし、防犯だよりの発行、安全安心まちづくり市民ひろば等の開催により市民の防犯意識の高揚に努めた。
15 協働のハンドブック（職員用）の作成	0円	協働事業の導入に積極的に取り組むための手引書を作成し、職員の協働に対する理解促進を図った。（自庁印刷）
16 平和のつどい記録冊子作成	377,055円	平成14年度から平成18年度まで実施した平和のつどい「市民が語る戦後の福生（昭和20年代）」の5年分の内容を記録集としてまとめ、発刊した。 ・発刊部数 600冊 ・頒布価格 620円
17 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	48,638,823円	私立幼稚園等に在籍する幼児の保護者に対して補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を図った。 ・私立幼稚園園児保護者負担軽減補助金 延べ7,608人 47,608,023円 ・幼稚園類似幼児施設保護者負担軽減補助金 延べ180人 1,030,800円
18 私立幼稚園就園奨励費補助金	33,074,300円	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため保護者の所得状況に応じて補助金を交付することにより幼稚園教育の振興を図った。 ・対象者 454名

事業名等	事業費	内容と成果
19 タイヤロック方式による軽自動車・オートバイ等動産及び自動車等差押事業	51,450円	滞納者所有財産の軽自動車等のタイヤを鍵付金具で挟み運行不能状態にするタイヤロック方式による差押えを実施し、滞納の抑制及び自主納税意識の高揚を図った。 ・タイヤロック（鍵付金具）購入 2台 ・タイヤロック実施 4回
20 軽自動車・オートバイ等動産及び自動車等差押財産インターネット公売事業	10,671円	搜索等により差し押さえたオートバイ、絵画、レコード等をインターネットオークションにより公売し、換価することにより滞納市税等に充当し、財源確保に努めた。 ・事務費等 10,671円 ・入札額総計 65,730円 ・市税等充当額 48,932円 ・滞納処分費等 7,098円 ・本人へ還付 9,700円 ・入札回数 2回 ・出品動産 6点
21 参議院議員選挙の執行	20,087,534円	平成19年7月28日任期満了の参議院議員選挙を執行した。 ・告示日 平成19年7月12日 ・投票日 平成19年7月29日 ・東京都選出 当日有権者数 48,219人 投票者数27,072人 投票率 56.14% ・比例代表選出 当日有権者数 48,219人 投票者数27,070人 投票率 56.14%
22 東京都知事選挙の執行	8,918,016円	平成19年4月22日任期満了の東京都知事選挙を執行した。 ・告示日 平成19年3月22日 ・投票日 平成19年4月8日 ・当日有権者数 47,754人 投票者数25,163人 投票率52.69% 総事業費 18,295,494円 ・平成18年度分 9,377,478円 ・平成19年度分 8,918,016円
23 福生市議会議員選挙の執行	24,507,082円	平成19年4月30日任期満了の福生市議会議員選挙を執行した。 ・告示日 平成19年4月15日 ・投票日 平成19年4月22日 ・当日有権者数 47,153人 投票者数25,857人 投票率 54.84% 総事業費 26,263,123円 ・平成18年度分 1,756,041円 ・平成19年度分 24,507,082円

(2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 中国残留邦人生活支援事業	4,192,650円	中国残留邦人等の老後の生活支援などを目的とした「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の改正に伴い、平成20年4月から中国残留邦人等に生活支援給付金を支給し、及び専用医療券を発行するため、電算機器の購入及び電算システム導入により、平成20年度からの円滑な運用開始に努めた。 ・電算機器一式 622,650円 ・中国残留邦人支援システム一式 3,570,000円

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
2 国民健康保険レセプト確認事務委託	2,905,000円	医療費適正化の重点対策の一環として、保険者として診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 269,486枚 ・診療報酬保険者負担額 A 3,376,067,973円 ・再審査の結果減額された額 B 10,658,061円 ・被保険者一人当たり過誤調整額 C (B/被保険者数) 436円 ・過誤調整率 D (B/A) 0.32%
3 国民健康保険システム改良委託	2,335,725円	70歳未満の被保険者の入院に係る高額療養費の現物給付化が平成19年4月から施行されることに伴い、所得区分の判定及び限度額適用認定証の発行が確実にされるよう国民健康保険電算システムの改良を実施した。
4 れんげ園冷温水発生機交換工事	4,630,500円	老朽化により空調設備の機能が低下したため、冷温水発生機を交換し、室内環境の改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・冷温水発生機 冷凍能力:52.7kw 加熱能力:63.3kw
5 障害者自立支援対策臨時特例事業	4,069,969円	障害者自立支援法の円滑な実施及び法施行に伴う激変緩和並びに事業者の新たな円滑な移行促進のため、障害者自立支援対策臨時特例事業を実施し、障害者福祉の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・障害児を育てる地域の支援体制の整備事業 467,989円 ・視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業 424,620円 ・通所サービス利用促進事業 2,400,000円 ・事業運営円滑化事業 566,099円 ・進行性筋萎縮症療養等給付事業 64,080円 ・就労意欲促進給付金 147,181円
6 老人医療レセプト確認事務委託	2,520,000円	医療費適正化の重点対策の一環として、老人医療診療報酬明細書による診療報酬の請求の正確さを期するため、点検調査の充実強化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・内容点検枚数 145,805枚 ・総医療給付額 A 3,104,022,953円 ・再審査の結果、減額された額 B 32,607,131円 ・受給者一人当たり過誤調整額C (B/平均受給者数) 7,152円 ・過誤調整率 D (B/A) 1.05%
7 後期高齢者医療システム導入	34,909,061円	平成20年4月から実施される後期高齢者医療(長寿医療)制度に備えるため、後期高齢者医療システムの導入及び住民基本情報等の基本システムとの連携のための改良等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・システム導入委託料 2,205,000円 ・システム改良委託料 7,187,250円 ・据付調整等委託料 252,000円 ・電算機借上料 740,418円 ・備品購入費(プログラムパッケージ等) 16,451,400円 ・事務費分賦金 8,072,993円
8 年金相談員の設置	3,997,400円	年金相談員を設置し、市民の年金相談の充実を図った。年度後半には、「ねんきん特別便」に関する相談にも対応した。 <ul style="list-style-type: none"> 報 酬 3,850,000円 費用弁償 147,400円
9 ホームヘルプサービス負担軽減補助金	739,765円	訪問介護を利用する低所得の障害者に対して、介護保険法施行に伴う利用者負担額の激変を緩和するため、利用者負担額の一部を助成した。

事業名等	事業費	内容と成果
10 児童手当支給事業	417,670,000円	<p>児童手当制度が改正され、平成19年4月支給分から3歳未満の乳幼児の児童手当額を、第1子及び第2子についても一律月額10,000円に倍増し、若い子育て世帯等の経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童数（平成20年3月末） 5,551人 うち3歳未満児童数 1,349人
11 子ども家庭支援センター事業（先駆型移行）	20,590円	<p>子ども家庭支援センターの種類を平成20年1月から先駆型に移行し、軽度の虐待が認められる家庭等に対する身守りサポート及び不適切な養育環境にある家庭等に対する虐待防止支援訪問を新たに実施し、子どもと家庭に関する総合相談業務の充実を図った。また、児童虐待予防の観点から育児支援家庭訪問事業を同年3月から新たに実施し、家庭の状況に即した支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児支援家庭訪問事業委託料 20,590円
12 児童館等の管理運営事業（指定管理者制度の導入）	119,898,787円	<p>児童館及び児童館に併設する学童クラブ（田園、熊川、武蔵野台）事業を指定管理者（NPO法人ワーカーズコープ）に委託した。民間事業者の能力を活用しつつ、地域住民等に対するサービスの向上及び児童館等施設の効率的な管理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館等施設指定管理委託料 91,782,000円 学童クラブ事業指定管理委託料 28,116,787円
13 義務教育就学児医療費助成事業	5,608,977円	<p>義務教育就学期（小学1年生から中学3年生まで）の児童の保護者に対し、医療費の自己負担額3割のうち1割を助成することにより保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援施策の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童（平成20年3月末） 2,960人 支給開始年月日 平成19年10月1日 医療給付費 5,042,759円 医療費審査支払委託料 566,218円
14 福生保育園空調設備改良事業	2,258,850円	<p>老朽化した空調設備を改良し、個別空調化するための設計委託を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計委託料 2,255,400円 事務費 3,450円
15 病後児保育室新設事業	474,600円	<p>病気の回復期にあり集団保育が困難である児童に対応するため、福生保育園1階北東側に位置する機械室を病後児保育室に改修するための設計委託を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計委託料 474,600円
16 福生保育園用地取得事業	85,263,949円	<p>民間活力の導入によるコスト削減及び各種サービスへの取組促進を目的とした福生保育園の民営化に向け、東京都から借り受けていた土地（949.31㎡）を買収した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福生市福生字奈賀1058-11 773.80㎡ 福生市福生字奈賀1061-15 175.51㎡ 用地買収費 84,820,849円 土地鑑定委託料 443,100円

(3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合建設費負担金	72,084,000円	2市1町(福生市、羽村市及び瑞穂町)で運営する公立福生病院の建替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図った。 ・本体工事期間 平成18年度～平成20年度
2 健康づくりアクションプランの策定	67,828円	健康づくりアクションプランの策定に向け、健康づくり推進員会議では、13回の会議を開催し、また、健康づくり事業推進本部では、策定基礎資料を庁内に提示した。 健康ふっさ21事業費 67,828円 ・健康づくり講師謝礼 42,500円 ・事務費等 25,328円
3 肝炎ウイルス検診事業	239,811円	東京都のウィルス肝炎受療促進集中戦略として、未受診者等を対象とした検診実施体制を確保することにより、陽性者の早期発見に努めた。
4 健康センター耐震補強等事業	5,389,832円	旧健康センターに、子ども家庭支援センター及び教育センターの機能を有した配置並びに耐震診断報告書に基づく耐震補強を施すための実施設計を行った。 ・設計委託料 5,355,000円 ・事務費等 34,832円
5 保健センター給水設備改良工事	2,205,000円	給水システムを受水槽方式から水道本管直結方式に変更することにより、水質の改善を図った。
6 三多摩は一つなり交流事業	274,500円	円滑な一般廃棄物広域処分事業を推進するため、ごみ最終処分場を受け入れている日の出町民と一般廃棄物を搬出する多摩25市1町の住民が、文化、スポーツ等の事業を通じて交流し、相互理解を深めた。 福生市主催事業 開催日 平成19年11月18日(日) 内容 福生市民会館主催事業「ものまねエンターテイメント『コロッケ』コンサート2007」に日の出町民45名を招待
7 リサイクルセンター給水管撤去工事	798,000円	防衛省の土地の使用許可満了に伴い、同土地内に埋設され、現在廃管となっている給水管を撤去する原状回復工事を行った。
8 ごみ分別の手引きの作成	2,945,250円	ごみ分別の手引きの改訂版を作成し、可燃ごみ、不燃ごみ、資源等の分別の周知徹底を図った。 ・33,000部作成(全戸配布)

(4) 商 工 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 観光案内板書替委託	825,300円	駅前広場等に設置されている観光案内板が老朽化したため、情報の更新、表記の統一化等を含めた改修を行い、案内設備の充実を図った。 ・改修箇所 福生駅西口駅前及び福生駅東口駅前 ・表示内容 福生市全図及び近隣市の一部・福生十景及び市内観光名所・公共施設・車椅子用トイレ（だれでもトイレ）・避難場所・ウォーキングトレイルコース・ピクトグラム（絵文字）・外国語表記（英語、中国語及びハングル）
2 西多摩地域観光案内冊子の発行	1,591,000円	西多摩8市町村で構成する西多摩地域広域行政圏協議会において、西多摩地域の観光案内冊子を発行し、観光客の誘致及び観光産業の振興を図った。 ・発行部数 30,000部 ・仕 様 A B判 128頁
3 蛸まつり補助金	1,220,000円	福生市の観光振興を積極的に推し進める団体に対し、観光事業経費の一部を補助することにより、観光客の誘致及び事業の支援に努めた。 ・来場者数 約36,000人 ・模 擬 店 41店 ・催 物 演芸・ほたる絵画展・俳句展
4 七夕絵画コンテスト補助金	301,000円	福生市観光協会が実施する七夕絵画コンテストに対し事業経費の一部を補助し、観光客の誘致及び観光産業の振興の支援に努めた。 ・応募総数 316点 ・選考結果 A部門（小学生） 特選2点・優良賞5点・佳作30点 B部門（中高生と同年齢） 特選0点・優良賞1点・佳作1点 ・絵 画 展 平成19年11月3日（土）～11日（日） ネットヨタ多摩(株)本社1階ショールーム

(5) 土 木 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 道路管理システム更新	4,283,989円	道路管理システムのパソコンの老朽化に伴い、新しいパソコンにシステムを移行する必要性が生じたため、道路管理システムの更新を行った。 ・道路管理システム更新委託料 840,000円 ・道路管理データ入力委託料 1,796,581円 ・道路管理システム保守委託料 247,800円 ・道路管理システム電算機保守委託料 119,700円 ・道路管理システムプログラム使用料 951,720円 ・道路管理システム電算機借上料 328,188円

事業名等	事業費	内容と成果
2 道路新設改良事業	884,482,209円	<p>1 市道第1185号線改良事業費 13,440,000円 玉川上水右岸にあり、景観に配慮した砕石舗装で管理しているが、長年の砕石補充により路面が高くなり、玉川上水管理用柵にも影響を及ぼしているため、改良工事を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 2,362,500円 ・工事請負費 11,077,500円 <p>2 市道第1261号線自転車歩行者道路拡幅事業費 1,396,500円 市道に面した法面の土砂の落下を防止し、歩行者等の安全を確保するため、擁（よう）壁の設置設計委託をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 1,396,500円 <p>3 市道幹線Ⅱ-18号線改良事業費 14,700,000円 車道の改良、歩道の拡幅及び歩道のセミフラット化を行うために、測量及び設計を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地測量委託料 4,620,000円 ・設計委託料 10,080,000円 <p>4 拝島自由通路整備事業費 857,216,093円 拝島駅を南北に結ぶ自由通路並びにJR及び西武鉄道の橋上駅舎の工事を委託し、利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事委託料 857,216,093円
3 住宅・建築物耐震改修等補助事業	300,000円	<p>木造住宅耐震診断助成金交付要綱に基づき、新耐震基準以前に建築された住宅について診断費用の一部を助成し、市民の負担軽減及び耐震化の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 3件
4 まちづくり景観事業	0円	<p>景観基本計画及び景観条例に基づき、まちづくり景観審議会及びまちづくり景観推進連絡会の設置、まちづくり景観推進団体の認定、景観推進連絡会における各団体の意見発表や今後の景観について6回の会議を実施し、福生らしい景観の創出及び保全に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり景観推進団体の認定 1件
5 市営住宅用火災報知機設置	1,942,500円	<p>消防法の改正に伴い既存住宅に対し火災報知機設置が義務づけられたため、市営住宅の各居室へ火災報知機を設置した。</p> <p>設置により、火災発生時の初期消火及び避難が可能となり、住民の安全確保が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 集合住宅107戸 木造住宅37戸 計144戸 ・平成20年度（予定） 集合住宅126戸
6 第二市営住宅改修工事	5,706,225円	<p>第二市営住宅の4棟に2棟共通のエレベーターと各階共通の歩廊を設置し、バリアフリー化を図るため、実施設計を委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 設計委託料 5,697,300円 ・平成20年度 3・4号棟施工予定 ・平成21年度 1・2号棟施工予定

(6) 消 防 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 消防団車庫改良等 工事	1,699,950円	老朽化した消防団車庫の整備を実施し、消防団活動の円滑化を図った。 ・第五分団車庫火の見やぐら改良工事 933,450円 ・第二分団及び第三分団車庫便所改良工事 462,000円 ・第五分団車庫フェンス改良工事 304,500円
2 街頭消火器格納箱 整備事業	840,000円	火災の初期消火用に重要な街頭消火器の格納箱について、経年劣化により損傷が特に激しいものの整備を行った。 ・備品購入費 100個 840,000円
3 耐震性防火水槽新 設事業	31,256,400円	耐震性防火水槽2基を設置して、災害時の水利確保を図った。 1 設置場所 福生市本町5番地 福生市役所敷地内 ・規模 100m ³ 級鋼製耐震性貯水槽 1基 2 設置場所 福生市大字福生2125番地3 福生市保健センター敷地内 ・規模 100m ³ 級鋼製耐震性貯水槽 1基 ・設計委託料(2基) 1,701,000円 ・監理委託料(2基) 550,200円 ・工事請負費(2基) 29,005,200円
4 防災行政無線施設 改良事業	51,840,400円	老朽化した防災行政無線施設の改良工事実施設計及び再整備を行った。 ・設計委託料 4,074,000円 ・監理委託料 1,282,050円 ・工事請負費 46,484,350円

(7) 教 育 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 育英資金補助金	1,989,600円	育英資金支給額を増額し、育英資金制度を充実させることにより、保護者負担の軽減及び教育の機会均等化を図った。 ・支給額 全日制 9,300円から9,600円へ増額 定時制 2,500円から2,600円へ増額 ・受給者 18人(定時制1人含む)
2 教育委員会ホーム ページのリニュー アル	0円	市ホームページ内の教育委員会トップページをリニューアルし、各小中学校のホームページへのリンクを容易にするとともに最新の情報を見やすく掲示した。
3 小学校授業指導補 助員の配置(増員)	14,045,910円	小学校第1学年国語及び第3学年算数の授業に配置していた授業指導補助員を、第1学年から第3学年までの国語及び算数の授業に拡大して配置し、学力の向上を図った。 ・延べ29人配置
4 算数・漢字検定委託 事業	1,306,840円	小学校第4学年を対象に算数検定、中学校第1学年を対象に漢字検定を実施し、基礎学力の定着度の把握及び児童・生徒の資格取得による学習意欲の喚起を図った。

事業名等	事業費	内容と成果
5 福生市公立学校教育研究会負担金	839,200円	平成18年度は小学校教員のみで組織されていたが、平成19年度から中学校教員を加えて再編し、福生市特有の課題解決や小中学校全体の教育効果を高めるため研究活動を行なった。
6 不登校等対策事業の推進	8,275,163円	不登校児童・生徒及びその保護者に対し細やかに対応できるよう、相談員、補助員等を配置するとともに、関係機関による連携会議を通して総合的に不登校問題の解決を図った。 ・適応指導教室事業費 4,865,977円 ・スクリーニング・サポート・ネットワーク整備事業調査研究費 2,009,186円 ・子どもと親の相談員活用事業調査研究委託料 1,400,000円
7 就学時健康診断事業	1,196,160円	就学時健康診断における診断科目を、従来の内科及び歯科に加えて耳鼻科及び眼科を追加することにより、保健活動の一層の充実を図った。
8 小中学校門扉オートロック設置工事	9,300,900円	防犯カメラの設置にあわせて、学校への出入口を1箇所に限定し、電磁オートロック方式の門扉にすることにより、防犯対策を強化した。 ・電磁錠・制御盤設置一式（10校） ・設計委託料 480,900円 ・工事請負費 8,820,000円（小学校 6,015,240円） （中学校 2,804,760円）
9 福生市立小中学校創立周年記念誌作成事業	310,695円	第一中学校の創立60周年記念事業の一環として、記念誌を作成した。
10 通級指導学級の設置（増設）	11,535,268円	小学校（五小・六小）に設置している通級指導学級に加え、中学生を対象とした通級指導学級を第二中学校に開設し、情緒的に課題のある生徒に対する支援の充実を図った。
11 給食調理用備品購入（搬送用）	233,793円	第五小学校及び第六小学校の通級指導学級に配膳用備品を設置し、温かい給食の提供を実施した。
12 ふっさっ子の広場事業	7,572,647円	放課後等に小学校の施設を利用して異年齢の友達、地域の人等との交流の場を提供することにより、児童の健全育成及び自主的活動の助長を図った。 ・開設 平成19年10月 ・モデル校 福生第六小学校
13 福生市公民館開設30周年記念誌作成	198,450円	福生市公民館30年の歩み及びこれからの展望を冊子にまとめ、関係者に配布した。 ・印刷部数 300部
14 中央図書館アーチ補修工事	395,850円	中央図書館入口にあるアーチの塗装がはく落し、表面石板の固定金具に腐食が生じてはがれ落ちる危険があるため、蔵書点検の休館中に補修工事を実施して施設の整備を図った。 ・工期：平成19年9月25日から同年10月3日まで ・事業費：395,850円

事業名等	事業費	内容と成果
15 子ども体験塾事業 (夏休みジュニア スポーツスクール)	3,633,293円	学年が異なる児童・生徒を対象に、普段あまり接することのないスポーツ、屋外活動等の体験学習の機会を作り、情操を養うとともに市民スポーツのリーダーを育成し、市民主体のスポーツ振興を図った。 ・場 所：長野県白馬村 ・委託料 2,984,150円 ・自動車借上料等 496,400円 ・事務費等 152,743円
16 スポーツトラクター 外(備品)の買替え	2,940,000円	現在使用している機種は、老朽化に伴う機能の低下が著しく故障も多いため買替えを行った。各体育施設の芝生管理委託を廃止し、福生野球場、加美平野球場、南公園グラウンド、福東総合グラウンド及び多摩川中央公園グラウンドの整備及び芝刈りを行い、競技者の利便性を図った。 ・トラクター(付属品一式) 1台 2,518,000円 ・自走式芝刈り機 2台 422,000円
17 市営プール循環設 備改良事業	13,639,700円	循環装置を交換し、ろ過精度の向上及び自動制御での遊離残留塩素管理をすることで、良好な水質の維持管理及び市民サービスの向上を図った。 ・設計委託料 703,500円 ・監理委託料 371,700円 ・工事請負費 12,547,500円 ・事務費等 17,000円
18 武蔵野台テニスコ ート改良事業	23,506,450円	人工芝の張替えにより利用者の安全確保を図るとともに、コートをつットサル兼用とすることにより、利用の拡大を図った。 ・設計委託料 399,000円 ・工事請負費 23,100,000円 ・事務費等 7,450円
19 福東グラウンド防球 ネット改良事業	16,711,590円	防球ネットを増設し、近隣住民、競技観戦者、通行車両、通行人等の安全確保を図った。 ・設計委託料 710,850円 ・監理委託料 502,740円 ・工事請負費 15,493,000円 ・事務費 5,000円
20 福東球技場整備事 業	10,354,310円	防球ネットの増設を実施した。また、スプリンクラーを新設し、土ぼこり対策をするとともに、内野の整備を行い、競技者、競技観戦者、通行車両、通行人等の安全確保を図った。 ・設計委託料 465,150円 ・監理委託料 335,160円 ・工事請負費 9,549,000円 ・事務費 5,000円
21 福東第1少年野球 場整備事業	38,835,700円	既設のフェンスが10mと低いため、防球ネットの増設を実施した。また、スプリンクラーを新設し、土ぼこり対策をするとともに、ダックアウトの新設及び内野の整備を行い競技者及び競技観戦者の安全確保を図った。 ・設計委託料 1,606,500円 ・監理委託料 1,146,600円 ・工事請負費 36,068,000円 ・事務費等 14,600円

事業名等	事業費	内容と成果
22 福生地域体育館駐車場 拡張事業	17,483,200円	<p>駐車場の出入口が交差点に近接していることや駐車台数の不足などを考慮し、拡張整備を行い利用者の利便性と安全対策を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地鑑定委託料 329,700円 ・用地買収費(71.96㎡) 14,392,000円 ・工事請負費 2,761,500円 <p>(駐車台数 24台から29台へ)</p>

(8) 複数の款にまたがる事業

事業名等	事業費	内容と成果
市税等電話催告事業	3,334,011円	<p>シルバー人材センターに委託し、現年度課税分滞納者への早期電話催告をすることにより、収納率向上及び財源の確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務日 月、火、水、土曜日 ・業務時間 午前9時から午後5時まで (ただし水曜日は午後2時から午後8時まで) ・従事者数 3人 ・催告件数 14,694件(月平均1,224件) <p>事業費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計総務費徴税費賦課徴収費 2,232,195円 ・国民健康保険特別会計総務費総務管理費一般管理費 1,101,816円

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給 付費給付	2,143,118,225 円	<p>一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般被保険者一人当たり費用額 181,177 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 132,701 円 ・受診率 1,110.23% ・1件当たり費用額 16,319 円
2 退職被保険者等療養 給付費給付	1,232,004,835 円	<p>退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職被保険者等一人当たり費用額 380,418 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 289,611 円 ・受診率 2,116.60% ・1件当たり費用額 17,973 円
3 一般被保険者療養費 支給	35,826,472 円	<p>療養の給付を行うことが困難であると認めたとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般被保険者一人当たり費用額 3,033 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,218 円 ・支給件数 5,022 件 ・1件当たり保険者負担額 7,134 円
4 退職被保険者等療養 費支給	19,900,394 円	<p>療養の給付を行うことが困難であると認めたとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職被保険者等一人当たり費用額 6,172 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 4,678 円 ・支給件数 2,086 件 ・1件当たり保険者負担額 9,540 円
5 一般被保険者高額療 養費支給	224,645,941 円	<p>一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が80,100円（上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 3,160 件 ・1件当たり保険者負担額 71,090 円
6 退職被保険者等高額 療養費支給	99,000,139 円	<p>退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金（食事療養に係る標準負担額を除く。）が80,100円（上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円）を超えた場合に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 1,802 件 ・1件当たり保険者負担額 54,939 円
7 出産育児一時金支給	49,000,000 円	<p>被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 140 件 ・1件当たり支給額 350,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
8 葬祭費支給	15,810,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 317件 ・1件当たり支給額 (平成18年9月以前の死亡2件) 30,000円 (同年10月以降の死亡315件) 50,000円
9 結核・精神医療給付金支給	3,607,236円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。 ・支給件数 3,066件 ・1件当たり支給額 1,177円
10 老人保健拠出金	978,986,180円	老人保健法による被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、医療費及び事務費を拠出した。 ・医療費拠出金 964,451,091円 ・事務費拠出金 14,535,089円
11 介護給付費納付金	365,950,901円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 49,476円×7,614人=10,759,363円(平成17年度精算分)
12 高額療養費資金貸付	28,682,818円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 160件 ・貸付金額 28,682,818円 ・費用額 120,657,300円
13 出産育児一時金資金貸付	1,680,000円	出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる被保険者に対し、出産に必要な資金を貸し付け、被保険者の療養の確保を図った。 ・貸付件数 6件 ・1件当たり貸付金額 280,000円
14 保養施設宿泊費補助	138,000円	被保険者の健康の保持及び増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 46人
15 国民健康保険システム改良	16,800,000円	平成20年度から実施される医療制度改革に伴い、75歳以上の者の後期高齢者医療制度への資格移行、退職者医療制度の年齢引下げ、前期高齢者に係る国保税の年金からの特別徴収等の事務を円滑に実施するためシステム改良を実施した。
16 国保ヘルスアップ事業	6,392,490円	平成20年度から医療保険者に義務付けられる特定健診・特定保健指導を円滑に実施するため、国保ヘルスアップ事業を実施した。 ・積極的支援参加者 40人 ・動機付け支援参加者 30人

3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険電算機保守委託	2,797,200円	電算機保守、システム保守及び認定審査会用機器保守の委託をし、円滑なシステム機器の利用を図った。
2 介護保険システム改良委託	3,433,500円	介護保険制度の改正に対応するため、介護保険事務処理システムの追加及び改良を行い、介護保険事務の効率化を図った。
3 介護保険関係電算機器借上	2,535,309円	介護保険システム用機器及び認定審査会用機器を借り上げるにより、介護保険事務の効率化を図った。
4 認定調査嘱託員報酬	4,608,000円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、嘱託員を採用し、公平に要介護認定（訪問）調査を実施するとともに、事務の効率化を図った。
5 主治医意見書作成料	7,001,150円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、主治医等に主治医意見書の作成の依頼を行った。
6 要介護認定調査委託	151,200円	要介護認定・要支援認定申請に基づき、介護認定審査会でどの程度の介護が必要かを審査判定するために、指定居宅介護支援事業者等に要介護認定（訪問）調査を委託し、事務の効率化を図った。
7 介護サービス等給付費	2,198,916,517円	要介護認定（要介護度1から5）を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
8 介護予防サービス等給付費	65,096,448円	要支援認定（要支援度1・2）を受けた被保険者に対して介護予防サービスを給付した。
9 審査支払手数料	3,123,030円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
10 高額介護サービス費	46,193,157円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
11 高額介護予防サービス費	28,589円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
12 特定入所者介護サービス費	113,546,670円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護サービス費を支給した。
13 特定入所者介護予防サービス費	7,920円	低所得者の要支援者が短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護予防サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
14 介護保険相談員報酬	1,980,000 円	サービス利用者、事業者、サービス従事者から相談、苦情等の処理を行うため、嘱託職員を週4日採用し、円滑な介護保険の運営を図った。

4 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
下水道台帳管理システム更新	1,602,508 円	<p>下水道台帳管理システムに使用しているパソコンの老朽化に伴い、新しいパソコンにシステムを移行する必要があるため、下水道台帳管理システムの更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道台帳管理システム更新委託料 210,000 円 ・下水道台帳管理システムデータ入力委託 735,000 円 ・下水道台帳管理システム保守委託料 243,600 円 ・下水道台帳管理システムプログラム使用料 278,040 円 ・電算機借上料 135,868 円